

1. 事業概況

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が減速する中、当事業年度におけるわが国経済は、新規感染者数の拡大による緊急事態宣言が繰返されるなど、先行き不透明な状況が続いております。繊維業界におきましても外出自粛等による影響もあり、大変厳しい状況が続いています。

長期金利は日銀の金融政策のもと期初0.010%で始まりましたが、期末はアメリカの金利上昇の影響もあり0.120%と、若干の上昇に転じました。

このような状況のもと当倶楽部といたしましては、繊維産業の発展に寄与すべく事業計画に基づき事業を進めてまいりました。

事業内容といたしましては、

① 学術・科学技術の振興及び調査資料の収集等の支援事業として京都工芸繊維大学、芸術文化振興への支援として大阪府文化振興基金、大阪市文化集客振興基金に特定寄附を行いました。

② 講演会並びに研修会は繊維に係る諸テーマで以下の通り延4回、開催致しました。

2020年11月10日	第29回貿易実務研修会	
11日		講師 大阪税関 業務部担当官
2020年11月11日	第21回ロジスティクス委員会・関税制度等分科会	
		講師 日本繊維輸入組合 ロジスティクス委員会
2020年11月26日	繊維の基礎知識と品質評価研修会	
		講師 一般財団法人カケンテストセンター
2021年3月26日	EPA原産地規則セミナー（EU・英国協定、輸入繊維製品を中心に）	
		講師 財務省・税関原産地センター （東京税関業務部総括原産地調査官）

当事業年度におきましても例年と同じように年間10回程度のセミナーの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令もあり、上記通り4回の開催となりました。

しかしながら感染拡大防止の観点からウェブでの開催という形式も新たに採り入れ、より多くの方に参加いただけるように努めております。

- ③ 会員研修会に関しましては、例年新春の歌舞伎鑑賞会を実施しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止の観点から、当事業年度におきましては中止とさせていただきます。

来期の課題は今期と同様に公益目的支出計画を着実に実行し、合わせて講演会・セミナーなどを開催し、繊維産業の進歩発展に寄与することではありますが、新型コロナウイルスの影響を十分に考慮しながら進めてまいりたいと思いますので、会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。